令和7年4月期 和泊町農業委員会定例総会議事録

1. 開催場所：和泊町役場 議会議場 令和7年4月22日(火) 午前9時00分～

2. 出席者：

農業委員(12名)

野村会長 加納委員 大福委員 松田委員 三島委員 今井委員 東委員
山田(定)委員 榮委員 皆吉委員 村山委員 川畑委員

推進委員(8名)

早川委員 田浦委員 新里委員 里村委員 平委員 亘委員
大江委員 前田委員

欠席者：

大里委員 山田(兼)委員 山田(隆)委員 久富委員

3. 議事日程

(1) 議事録署名委員の指名

(2) 議事

議案第1号 地域計画(地域農業経営基盤強化促進計画)の変更について

議案第2号 農地法第3条の規定による許可について

議案第3号 農地中間管理の推進に関する法律第18条及び19条第3項の規定による
農用地利用推進計画(案)に対する意見について

議案第4号 農地のあつ旋申出の受理及びあつ旋委員の選任について

議案第5号 令和7年度農地利用最適化交付金事業に係わる最適活動の目標設定について

4. 報告

合意解約に関する報告について

5. その他

(1) 令和7年度和泊町農業委員会事務局の事務分掌, 年間行事計画について

(2) 次期総会について

日 時：5月23日(金) 午前9時～

場 所：和泊町議会議場(役場2階)

議案締切り：5月15日(木)

現地確認：5月16日(木) 午後1時30分～

議案発送：5月20日(火)

6. 農地利用最適化推進会議

(1) 令和6年度農地利用最適化推進活動の報告について

7. 農業委員会事務局職員

事務局長 先田 資秀 事務局主査 三島 いずみ

事務局主査 先山 照子 経済課係長 名越 美希 制作者 辻井 理恵

○先田局長

おはようございます。時間になりましたので始めたいと思います。本日の出席人数は、定足数に達しておりますので、本日の総会は成立します。

それではただいまより、令和7年度4月期和泊町農業委員会定例会を開催します。始めに会長の挨拶をお願いします。

○野村会長

おはようございます。今年度初めての会で、今日4人委員が欠席ですけど、このメンバーで1年間頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○先田局長

ありがとうございます。それでは、和泊町農業委員会総会会議規則第5条により、議長は会長が、務めることとなっておりますので会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

○野村会長

それでは進めていきます。議事録署名人を、今井さん、東さん、私3名でいきたいと思えます。議事に入ります。

議案第1号。地域計画地域農業経営基盤強化促進計画の変更について、事務局の説明をお願いします。

○先田局長

経済課から名越さんが来てますので、説明をお願いします。

○経済課名越係長

おはようございます。経済課の名越です。よろしくお願いします。まず、去年、一昨年と2年間にかけて地域計画の策定の準備させていただきまして、無事3月に和泊町地域計画の策定ができました。ありがとうございました。それに伴いまして、地域計画の変更をするという作業が、たびたび出てくると思えます。通常でしたら、毎年、年1回、去年のように、夏頃に農談会ということで各字を回って、変更したところとかを確認するという形でいいんですが、農振除外や農地転用などの住宅や公共用施設を作るためには、先に地域計画の事前変更をしないといけなくなっています。これに伴いまして、今回3件。2ページですが、対象の地区が出ました。

整理番号1番、出花字出花泊〇〇。畑。面積1,300㎡。他4筆。合計5筆。全面積で8,467㎡。こちら申請人は、鹿児島市の株式会社〇〇になります。出花の方に水産事業部の研究施設を建設するというので、農地転用の案件が上がってまいりました。

整理番号2番が上手々知名の手々知名手田川〇〇。畑。3,735㎡。申請人は和泊にお住まいの〇〇氏です。乾燥飼料置き場を建設するというので申請上がってまいりました。

整理番号3番が玉城字玉城前田原〇〇。畑。627㎡。申請人は玉城にお住まいの〇〇氏です。こちら住宅を建設するというので上がってまいりました。このように住宅など、畑以外のものにする場合には事前に地域計画の変更が必要となります。既に各3つの字の区長さんを通じまして、農地の変更については同意をいただいております。これと同時進行で、関係機関の意見徴収を行いたいと思えますので、農業委員会の方に、意見書の計画を提出しております。こちらがですね、必ず地域計画の変更をするということが条件になってまいりまして、この地域計画の変更をしないと今後は農振除外も農地転用もできないということになっておりますので、審議の方をお願いして、意見を出していただきたいと思えますのでよろしくお願いします。

○野村会長

はい。今の説明でどうですか。何か質問ありますか。私から、今後は、これをやってから農業委員会が許可を出すということ？その除外をしてから農業委員会の許可が要るとい

と？許可をやってから今やってるんだけど，その通りでいくってこと？これは，前に許可出したよね。先に出して，それを地域計画の変更すると，順番になってるんだけど。

○経済課名越係長

3月より前の審議だったら大丈夫だったんですが，出花の研究施設の方が，県の許可をもらおうと思ったら3件別々で挙がってきたもので，それを1つにまとめて申請をやり直して欲しいということで，戻されてきました。それに伴って3月以降の手続きになるので，地域計画の変更が必要になったということでやり直しという事になっておりますので，前回議案に挙がっていたんですけど，もう一度審議していただく形になります。この地域計画の意見書を出していただいた後に，5月の総会で研究施設の方の，許可をお願いするようになります。

○野村会長

その中の玉城の場合，2月から3月に，こちらは審議しましたよね。

○経済課名越係長

こちらの方も，転用が伴ってきますのでやはり地域計画の変更が先に必要ということです。一時転用以外は，確実に農振除外とか農地転用は，農業委員会の総会の前に，地域計画の変更を字の方で確認してもらってからになります。関係機関の意見を取って，変更公告を行わないと，その次の許可申請の方に作業が行かないという形になります。

○野村会長

はい。わかりました。他に何か質問ありますか。はい，村山委員，どうぞ。

○村山委員

字で確認をするって先ほど述べてましたけど，どういった作業をするのか，誰がするのか，そこらあたりがよくわかりません。

○経済課名越係長

一応地域の話し合いの場を持つようにという指示は受けてるんですが，この転用がいつあるかというのが読めないものですから，年に1回の事後承諾，その地域計画の見直しの時には字の皆さんに集まっていたときにしていただくんですけど，今回は急遽決まりましたので，区長さんをお願いして，役員，農業委員，数名で，話し合いのところに参加してもらい，この目標地図作成したと思うんですが，その目標地図から，この部分が住宅になりますので，畑から除外されますよという確認を取って，問題ないという承認を受けるっていう形で進めさせてもらいます。

○村山委員

申請する様式とかはありますか？

○経済課名越係長

様式というのは特にはないです。この前，出花字に伺ったときには，変更した地図と，口頭で説明して，問題ないというのを取り決めましたので，そのあと私の方でこういう意見が出ましたという議事録を作成して，問題ないということをつけて，縦覧に行くという形をとります。特に申請しないといけないというのはないです。

○野村会長

はい川畑委員，どうぞ。

○川畑委員

先に字の方で地域計画の変更の承認をして，農業委員会に来る流れですね。経済課が主体

となって、区長に連絡をして役員会を急遽開いたりということで、申請が上がってきた時に
という感じなんですね。

○経済課名越係長

そうですね。地域計画が経済課主体の事業ですので、変更があれば、経済課の方から区長
さんに連絡して、字の役員さんを集めて承認後、地域計画の変更の報告までは経済課でしま
す。そのあとの農振除外とか、農地転用の承認というのは今まで通り、農業委員会の方でし
ていただくという形になります。

○野村会長

他に何かありますか。はいどうぞ。

○先山主査

今、農振除外とか申請が挙がって、定例総会に挙げるのと並行して、その地域計画もやる
というのは駄目ですか？先に除外の審議を定例総会でした後に、経済課の方に、こういうの
が除外が上がってきてますよと話を持っていきます。その後、経済課で地域の方と話し合い
をする。地域計画が先がいいですかね。

○経済課名越係長

そうですね。今回初めてなので。県が考えている手順としては、地域計画の変更公告があ
って、農振除外とか農地転用の申請を受け付けるという形ですね。事前相談とかはその間に
地域計画の方が、公告までの活動してる間にやってはいいみたいなんですけど。申請の受け
付けだけが、どうしても地域計画の変更公告の後にして欲しいということにはなってるみた
いです。

○先山主査

総会で審議した後に、経済課に話を持っていく時、地域計画の決定見込みでも、事前相談
できるので、そうしないと除外に3ヶ月かかるし、あとその地域計画が入ってくることによ
って4ヶ月かかって、除外した後、転用申請が2ヶ月で合計約6ヶ月ぐらいかかるんですよ。
という流れになるのかなと思うんですけど、それでいいですかね。

○野村会長

同時進行は駄目ですか。わからないかな？

○先山主査

やってみないとわからないですね。今回は先に全部審議した後に、地域計画の話し合いを
して、定例総会で今、皆さんの承認を求めているので、これが終わって14日間の縦覧が入る
んですよ。14日間やってそのあとに、〇〇氏の農振除外がはいります。なので今待って
いる状態でそちらが終わってからですので、農振除外も1ヶ月かかります。その前にまた事
前協議とかあるので、それは仕方がないことですよね。ちゃんともうそれが決められたこと
なので。一番いい方法でタイミング良く行けば、6ヶ月程で転用まで。

○野村会長

できれば同時進行でいけたらいいですね。これ最悪半年ぐらいかかるということですね。
それができるかどうかはまた調べてみてください。

はい。他に質問ありますか。なければ採決をしたいと思います。許可をすることに賛成の
方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

はい。賛成多数ですので、許可します。

それでは次にいきます。**議案の第2号**。農地法第3条の規定による許可について、農地法第3条の規定による許可申請書を受理したので、次の通り審議をお願いします。

○先田局長

申請番号1番，有償による所有権の移転。畑の所在が畦布神屋当〇〇。畑。農振農用地。面積が998㎡。渡人が，畦布字にお住まいの〇〇氏。受人が畦布字の〇〇氏です。個人間の売買。調査員が三島委員です。

申請番号2番，有償による所有権の移転。畑の所在が畦布名川〇〇。畑。農振農用地。面積1,761㎡。1筆，他1筆，合計2筆で2,905㎡。渡人が畦布字の〇〇氏。受人が畦布の〇〇氏です。個人間の売買。調査員が三島委員です。

申請番号3番，所有権の移転。所在が和泊下当〇〇。畑。面積122㎡。渡人が，株式会社〇〇，受人が和泊字の，〇〇氏です。この畑については，国土調査による地籍の誤りがありましたので，そのため，真正な登記人の〇〇氏へ所有権の移転になります。調査員が山田隆男委員です。

申請番号4番。無償による所有権の移転。畑が谷山クラ川〇〇。畑。農振農用地。面積224㎡。渡人が，兵庫県在住の〇〇氏。受人が谷山字の〇〇氏です。受贈。調査員が大江委員です。

申請番号5番，有償による所有権の移転。畑の所在が谷山字下袋〇〇。畑。農振農用地。面積2,870㎡。渡人が手々知名字の〇〇氏，受人が和泊字の〇〇氏です。調査員が大江委員です。

以上5件の申請は農地法第3条第2項各号に該当しないと思われるため，許可要件をすべてすべて満たしていると思われます。審議をお願いいたします。

○野村会長

はい。それでは1番2番，三島委員から説明をお願いします。

○三島委員

1番2番ですけども。個人間売買となっておりますが，去年の11月に買いのあっせんで，〇〇氏から出ていた件です。検討ください。以上です。

○野村会長

2番も一緒ですか？

○三島委員

2番も一緒です。

○先田局長

申請書には農業委員によるあっせんが抜けてますので，これは今，三島委員がおっしゃったことであっせんになるかと思えます。

○三島委員

お願いします。

○先田局長

他の申請書には，農業委員のあっせんによる売買ですとか，そういったことが書かれてるので。この場合は，農業委員のあっせんで，こちらの方も書類を作るんですが，今回の申請書にその記載がなかったので，今のようになったところです。農業委員のあっせんということでもよろしいですね。

○三島委員

お願いします。

○先田局長

改めて修正かけた書類を流しますのでよろしくをお願いします。

○野村会長

3番, 事務局, 何か聞いてます?

○先田局長

山田隆男委員は南栄糖業の仕事の関係で来れないということでした。こちらの今, 地図が出てるところですが, これが本来でしたら, 和泊下当〇〇にあるべき申請地が, 国土調査の地籍の誤りで, 間違った地番だったということで, その部分を分筆して, 本来真正な登記名義人の〇〇氏に所有権を移転するという事です。

○野村会長

そういうことですけど質問ありますか。ないですね。

4番は大江さん聞いてますか。

○大江委員

受人〇〇氏の畑は, 3反ちょっとの畑に3人の方の名義が入ってまして, ちょうどその真ん中に渡人〇〇氏の土地が入ってまして, 今までもずっと父親の時代からありますけども, 遊休農地にもならず使ってたんで, 今回, 受人〇〇氏が父親から今度名義変更するという事で, 渡人〇〇氏に相談したところ, それだったら無償での受贈でいいですので使ってくださいということでした。特に問題はないかと思います。以上です。

○野村会長

抵当権はそれを了解でもらうとことですよ。

○大江委員

そこまでは, 抵当権どうこうは聞いてないので。

○先田局長

抵当権の設定が昭和11年に〇〇円でされてます。なので, 外せないのかなと思います。

○野村会長

はい。5番目お願いします。

○大江委員

5番の方は, 話を詳しくは聞いてないので, 早川委員の方で説明をいただければと思います。

○野村会長

早川委員お願いします。

○早川委員

渡人の〇〇氏の畑は, 受人の〇〇氏が買ってるんで。受人の〇〇氏はキビ作りに一生懸命。面積拡大で, やってます。ご審議お願いします。

○野村会長

それでは最後に申請番号1番から5番まで, 何か質問があったらお願いします。なければ一緒に採決をしたいと思いますので, 許可することに賛成の方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

はい。賛成多数ですので、許可します。

それでは次にいきます。**議案の第3号**。農地中間管理機構の推進に関する法律第18条及び19条の第3項の規定による農地利用する。推進計画に対する意見について。農用地利用推進計画についての意見を求めますということ。説明をお願いします。

○三島主査

おはようございます。タイミングを逃してしまってお挨拶ができなかったんですけど。この4月から農業委員会に異動して参りました三島いずみと申します。議案の途中でご挨拶して申し訳ないです。説明慣れてないのでお聞き苦しいところがあるかと思いますがよろしくをお願いします。それでは9ページをご覧ください。

申請番号1番、西原免座納〇〇。畑。1,681㎡。こちら基盤整備により、地盤面積の変更のため再契約となります。渡人は、徳之島町亀徳にお住まいの〇〇氏から、受人は国頭字の〇〇氏への契約となっております。

申請番号2番、玉城川内田〇〇。畑。945㎡。こちらは新規の賃貸借契約で、玉城字の〇〇氏から玉城字の〇〇氏への契約です。契約期間は令和7年7月1日から6年間です。

申請番号3番、国頭名間川〇〇。畑。2,069㎡。他1筆、合計2筆。総面積が3,412㎡。です。こちらは新規の賃貸借契約で、国頭字の〇〇氏から国頭字の〇〇氏への契約です。契約期間は令和7年の7月1日から10年間です。

申請番号4番、国頭矢放座〇〇。畑。1,913㎡。新規の賃貸借契約で、国頭字の〇〇氏から国頭字の〇〇氏への契約となります。契約期間は令和7年7月1日から6年間です。

申請番号5番、畦布カチヨフ〇〇。地目が原野となっておりますが、畑となります。面積が3,860㎡。他1筆、合計2筆、総面積が5,624㎡。新規の賃貸借契約で、畦布字の〇〇氏が所有者となっておりますが、亡くなられてますので、契約代表者として娘さんの〇〇氏と畦布字の〇〇氏の契約となっております。契約期間は令和7年7月1日から6年間です。

申請番号6番、畦布与名原〇〇。畑。3,677㎡。新規の賃貸借契約で、根折字の〇〇氏から、和泊字の〇〇氏への契約です。契約期間は令和7年7月1日から6年間となっております。

申請番号7番、根折水付原〇〇。畑。2,672㎡。他、1筆。合計2筆、総面積5,926㎡。新規の賃貸借契約で、根折字の〇〇氏から、和泊字の〇〇氏への契約です。契約期間は令和7年7月1日から6年間です。

申請番号8番、根折城田原〇〇。畑。1,250㎡。他1筆、合計2筆。総面積1,546㎡。新規の賃貸借契約で、根折字の〇〇氏から、根折字の〇〇氏への契約です。契約期間は令和7年7月1日から6年間です。

申請番号9番、大城洲田〇〇。畑。2,700㎡。他2筆。合計3筆。総面積5,213㎡。です。新規の賃貸借契約で根折の〇〇氏から、大城字の〇〇氏への契約となります。契約期間は令和7年7月1日から6年間です。

申請番号10番、大城石嶺〇〇。畑。1,362㎡。以前、相対での契約でしたが、相対契約が切れますので公社との契約となります。賃貸借契約です。契約者は、大城字の〇〇氏から大城字の〇〇氏への契約となります。契約期間は令和7年7月1日から6年間です。

申請番号11番、大城石嶺〇〇。畑。1,249㎡。他1筆、合計2筆、総面積3,586㎡。以前、相対での契約でしたが、今回、公社との契約になります。こちら使用貸借契約となっております。鹿児島市真砂本町在住の〇〇氏から、大城字の〇〇氏への契約となります。契約期間は令和7年7月1日から6年間です。

申請番号12番、皆川長当〇〇。畑。2,810㎡。他3筆。合計4筆、総面積10,182㎡。以前、相対での契約でしたが、今回、公社との契約となります。賃貸借契約です。堺市北区在住の〇〇氏から皆川字の〇〇氏への契約となります。契約期間は令和7年7月1日から6年間です。

申請番号13番、内城直城〇〇。畑。534.28㎡。他1筆、合計2筆。総面積1,446.28㎡。です。以前、相対での契約でしたが、今回、公社との契約になります。賃貸借契約です。内城字の〇〇氏から内城字の〇〇氏への契約となります。契約期間は令和7年7月1日から6年間です。

申請番号14番、内城石橋〇〇。畑。1,148㎡。他1筆、合計2筆、総面積2,767㎡。で

す。以前、相対での契約でしたが、今回、公社との契約となります。賃貸借契約です。内城字の〇〇氏から、内城字の〇〇氏への契約となります。契約期間は令和7年7月1日から6年間です。

申請番号15番、内城栄振〇〇。畑。6,779 m²。新規の賃貸借契約で、内城字の〇〇氏さんから仁志字の〇〇氏の契約です。契約期間は令和7年7月1日から6年間です。

以上です。審議をお願いします。

○野村会長

それでは、新規の説明をお願いします。申請番号2番。榮委員。

○榮委員

申請番号2番。渡人〇〇氏の畑は小さいんですが、受人〇〇氏が近くにキビを作っておりまして、借りたらどうですかということで、決定いたしました。

○野村会長

申請番号3番。4番。東委員。

○東委員

申請番号3番。先月、渡人〇〇氏の畑を受人〇〇氏が借りることになって、そのあとに、渡人〇〇氏の方から、まだ畑を貸したいところがあるという話があって、受人〇〇氏の方は借りのあっせん面積がまだ足りてなかったんで、受人〇〇氏の家からもその畑が近いので、受人〇〇氏の方に紹介したところ、ぜひ貸して欲しいということで話がまとまりました。以上です。

申請番号4番。渡人〇〇氏の畑を以前借りてた方が今回返すことになって、渡人〇〇氏が持っている畑のいくつかは自分で耕作するという事になったんですけども、受人〇〇氏が借りることになった畑がちょうど海の上にあって、自分はちょっとここでは作物をつくれないということで、以前の方が牛用のローズを栽培してましたので、誰かそういう方がいれば紹介して欲しいということで、受人〇〇氏の牛舎もちょっと近いので、受人〇〇氏に話したところ借りますということで話がまとまりました。以上です。

○野村会長

申請番号5番。三島委員。

○三島委員

申請番号5番。相対で、渡人〇〇氏と受人〇〇氏の親同士で契約されてました。公社へ乗り換えということで、渡人〇〇氏亡くなっていますので娘の〇〇氏さんと、〇〇氏の息子の受人〇〇氏との契約に至りました。以上です。

○野村会長

申請番号6番。加納委員。

○加納委員

申請番号6番、申請番号7番ですけども、受人〇〇氏のところに行って調査したところ、これから先、まだ若いですし、農業に携わっていきたいということで、何ら問題はないと思いますのでよろしくお願いします。

○野村会長

申請番号8番。山田定美委員。

○山田定美委員

申請番号8番。渡人〇〇氏の畑を前契約者と解約して、新しく受人〇〇氏に貸すというこ

とで、受人〇〇氏は今、南栄糖業にいますけど、近いうちに仕事を辞めて農業に専念するということでした。

申請番号9番は、渡人〇〇氏の畑が大城にありまして、前耕作者がローズを巻いていましたので、それで大城で牛を飼っている受人〇〇氏にお話を進めたところ、いいということでしたので、審議をよろしくお願いします。

○野村会長

申請番号15番。亘委員。

○亘委員

申請番号15番。先月、受人〇〇氏が、借りのあっせん内城校区ということで出されていて、耕作面積での借りの金額で出して欲しいということがあったようです。渡人〇〇氏の畑の法面が多いらしくてちょっと金額が安いんですけども、その耕作面積での契約ということで、こういう金額になりました。受人〇〇氏はハーベスターもあり、規模拡大されてますので、問題ないと思います。審議の方よろしくお願いします。

○野村会長

はい、以上で説明終わります。何か質問ありますか。なければ一括に承認を得たいと思います。賛成の方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

はい。賛成多数ですので許可を出したいと思います。

○野村会長

それでは次にいきます。**議案第4号**。農地のあっせん申し出の受理及びあっせん委員の選任について農地移動適正化支援事業実施要領第9条に基づくあっせんの申し出があったので別紙の通り提出し、あわせてあっせん委員の選出をお願いします。

はい、説明をお願いします。

○三島主査

買いのあっせん申し出についてです。

整理番号1、国頭宇宗〇〇。畑。4,001 m²。申し出者は国頭字の〇〇氏です。希望価格は〇〇円です。

整理番号2番、玉城インカマ〇〇。畑。3,461 m²。申し出者は、和字の〇〇氏です。希望価格が〇〇円からとなっております。こちらは3月に保留となっております。

整理番号3番、国頭後蘭仁〇〇。畑。654 m²。申し出者は国頭字の〇〇氏です。希望価格は〇〇円までとなっております。こちら所有者のAtoAの契約があります。

売りのあっせん申し出についてです。

整理番号1番、喜美留長敷〇〇。畑。2,111 m²。申し出者は、和泊字の〇〇氏です。希望価格は相場です。こちら公社解約手続中となっております。

整理番号2番、谷山内田〇〇。畑。1,124 m²。申し出者は手々知名字の〇〇氏です。希望価格は相場です。

整理番号3番、大城大津美田〇〇。畑。957 m²。他2筆。合計3筆。総面積3,341 m²。申し出者は沖縄県南城市の〇〇氏です。希望価格は相場です。こちら相對の契約があり、売買は公社を希望されています。

借りたいのあっせん申し出についてです。

整理番号1番、国頭長岩。〇〇。畑。1,909 m²。他6筆、合計7筆、総面積9,474 m²。申し出者は国頭の〇〇氏です。希望価格は相場です。以上審議をお願いします。

○野村会長

はい。最初に戻ってください。16 ページです。いいですか。それでは1番からいきます。あっせん価格，国頭の皆さんどうですか。

○今井委員

整理番号1番の畑ですが，昨日確認に行ったところ，〇〇氏，本人とお会いすることができて，まず本人の希望価格なんですけど，〇〇円とありますけど本人に確認したところ，自分は〇〇円～〇〇円を考えてるっていうことだったので，訂正をお願いします。本人の希望価格〇〇円～〇〇円ということなんですけど。国頭のあっせんを〇〇円～〇〇円で設けたいと思います。

○野村会長

これ。〇〇円，〇〇円でどうですか？

○今井委員

では本人の希望通り〇〇円～〇〇円。お願いします。はい。

○野村会長

はい。あっせん価格〇〇円～〇〇円，本人の希望通りをお願いします。あっせん委員を国頭の3名の方をお願いします。

次，整理番号2番。玉城の榮委員，相場はどれぐらいですか。

○榮委員

こちらの場合はこの前も，〇〇氏と話をしましたが，そのあとに，玉城でも〇〇円でなら買っていいと言う人が2人います。だからできれば最低〇〇円をお願いしたいと思います。

○野村会長

本人の希望通りってことですね。

○榮委員

はい。

○野村会長

続いて整理番号3番。

○東委員

こちらの畑なんですけれども，本人の希望価格としては〇〇円までとなっているんですが，この圃場の隣の畑が，2年ぐらい前に反あたり〇〇円出ています。ただこの面積が小さいから，〇〇円までとしたのかなあとってはいるんですけど。この畑の隣が，今回買いたいとおっしゃってる〇〇氏の畑にもなるので，買って一緒にしたら，とっても使いやすくなるので，できれば〇〇円～〇〇円の間で，話をしたいと思っています。

○野村会長

はい。〇〇円から〇〇円ですね。整理番号2番のあっせん委員決めてなかった。2番のあっせん委員は玉城と和泊でいきたいと思います。いいですか。はい。3番のあっせん委員は，国頭の3名の方をお願いします。次にいきます。売りのあっせんですね。

○先田局長

喜美留の大里委員が本日欠席ですので，代わりに説明します。こちらの畑。喜美留の〇〇ですが，面積2,111㎡となっていますが，ちょっと形がいびつで2段になって，非常に使いにくいということで，1反〇〇円。〇〇円ぐらいしか使えないんじゃないかなっていうことでした。希望価格としては，こちらの方を〇〇円～〇〇円をお願いしたいということでした。

○野村会長

希望価格。〇〇円～〇〇円ですね。はい。あっせん委員は和泊と喜美留でお願いします。続いて整理番号2番。相場はいくらですか？大江委員どうですか。

○大江委員

この〇〇氏の畑は、去年、今年と上手々知名の〇〇氏が購入してるんですけども、その時の相場が〇〇円と〇〇円で購入してます。で、今回のこの畑は、もう長い間ずっと遊休農地ということで、作物作りもちょっと機械等入れて整地しないとつukれないんじゃないかなと思ってます。そういう話も〇〇氏としたところ、その購入者が決まれば相場については話で何とかしてあげますからということでしたので、あっせん価格は〇〇円～〇〇円でしていただければと思ってます。以上です。

○野村会長

〇〇円～〇〇円。はい。あっせん委員は谷山と手々知名でいいですか。お願いします。整理番号3番。大城。玉城が近い？皆川が近い？皆吉委員、どれぐらいですか。

○皆吉委員

〇〇円～〇〇円。一応。

○野村会長

はい。玉城、〇〇円～〇〇円でいいですか。あっせん価格は〇〇円～〇〇円でいきたいと
思います。あっせん委員は、大城と皆川でお願いします。はい。

それでは次にいきます。国頭、7筆。国頭の皆さんこれ全部個々に値段をつけ、あっせん
価格を入れますか。決まってからでいいですか。

○今井委員

国頭の借りたいのあっせんが出てるところなんですが、畑の所有者が1人なので、全面積
を合計した金額での契約を進めたいと思います。

○野村会長

はい。国頭の2人の方いいですか。それではこれは全部で幾らで進めてください。あっせん
委員は国頭の3名でお願いします。以上です。

採決をしたいと思います。すべて許可をしてよろしいですか。賛成の方の挙手をお願いします
ます。

(全員挙手)

はい。賛成多数ですので、そのように進めてください。

次、**議案の第5号**。令和7年度農地利用最適化交付金事業に関わる最適活動の目標設定に
ついて。説明をお願いします。

○先山主査

はい。それでは説明をいたします。今日2枚綴りのプリントを皆さんのところに置いてま
す。令和7年度最適活動の目標の設定等(案)の確認、そちらを使います。

農業委員会は農業委員会等に関する法律で第6条第2項の規定により、農地の集積、遊休
農地の解消、新規参入の促進といった、農地等の利用の最適化の推進に係る活動を実施する
こととなっております。毎年度、本来でしたら3月末までに、翌年度の最適化活動の目標を
設定し、4月末には、公表する。そして、知事に提出という流れとなっております。今回、
皆さんに、令和7年度の目標を設定。案を審議していただいて、承認を得て知事の方に報告
したいと思っております。それでは説明いたします。

I. 農業委員会の状況(令和7年4月1日現在)の1. 農業委員会の現在の体制といたしま

して、任命期間令和5年7月20日から、任期満了が令和8年7月19日までとなっております。そちら、農業委員定数が14名で、実数が現在14名となっております。その中で認定農業者が9名。農業認定農業者に準ずるものが1名、女性が3名、40代以下がゼロで、中立委員が1名ですね。そして、右側が最適化。農地利用最適化推進委員定数定数条例が、定数が10名で実数10名、担当地区が、地域が10となっております。

2. 農家農地等の概要となっております。こちらは総農家数が、直近の農林業センサスに基づいております。総農家数が698。その中で農業経営体として682経営体あります。農業者数で、基幹的農業従事者数が888人。女性が318、40代以下が116となっております。こちら農林業センサスに基づいてます。右側の認定農業者、担い手ですね、経営体担い手と言われるものなんですけれども。認定農業者数。こちらは経済課からデータをいただきました。認定農業者が208、基本構想水準到達者126。認定新規就農者20。農業参入法人はゼロです。以下はゼロとなっております。いわゆる担い手と言われるのが4区分ありますね。1234。そちらが、担い手となっております。耕地面積、畑、2,320haとなっております。

Ⅱ. 最適化活動の目標。1. 最適化活動の成果目標。(1) 農地の集積。現状及び課題ということで、現状管内の農地面積が2,320haありまして、これまでの集積、面積、3月末時点で、集積された面積が1,861.7ha。集積率が80.2%となっております。最終の目標が、農地の集積目標年度は令和12年度で、これは国が示している目標年度なんですけれども、12年度集積率は、国が80%と言ってますが県が90%という設定をしております。今年度の新規集積面積、令和7年度で新規で集積してくださいという和泊町への割り当て面積が19.2haとなっております。農地面積は2,320ha。なので、今年度の集積面積累計がそれをこれまでの集積面積に対して19.2haを足したのが1,880.9haで集積率は81.1%となっております。国で言う80%はもう目標を達成してるところですが、県の目標が90%となっておりますのでもう少し頑張ろう。頑張ってくださいということです。

(2) 遊休農地の解消。現状といたしまして、皆さんに、昨年1年間農地パトロール利用状況を、状況調査をしていただいた結果、11.8haの遊休農地が発見されました。その内訳ですが、すぐにでも使えるような農地はなくて、黄色区分の遊休農地と判断され、こちらは重機を用いて、解消できるような面積ですね。それが11.8haになります。課題といたしまして、未相続地や所有者不明農地など、皆さんが利用状況を調査した後、事務局の方から意向確認、所有者の方に確認したんですが、未相続地とか、現住所不明という形で返ってきてるのがほとんどなんですけれども、そういうことで、意向確認ができない農地があります。また、集落内の小面積、表土が浅いなど条件不利が多い。今後は非農地判断も視野に入れた解消活動を行っていくということしています。目標。これは既存遊休農地の解消、これは令和3年度に国の方で示している要綱に基づいてなんですけれども。まず、令和3年度の農業委員会、和泊町における緑区分の遊休農地はゼロでした。黄色区分は、令和3年度、16.4haありました。この黄色区分で、なかなか回収できない面積をですね、今回、地域計画の集落内での話し合いの中で、もしかしたら使える農地にできるのかとったりしてその件を解消に向けて話し合うというふうに持っていきたいと思っております。新規発生の遊休農地の解消が今回、ゼロ。ということになります。緑区分はなかったということでゼロですね。

(3) 新規参入の促進、これも3本柱の3つ目になります。新規参入者へ対しての農業委員会は促進をしてはいけないというふうになっております。**①現状及び課題**ということで、新規3年の促進は、直近の3カ年ですね、令和4年度、新規参入者が3経営体に対して9.8haの契約をされております。令和5年度新規参入者が7経営体に対して41.5ha、そして令和6年度、昨年度の新規参入者6経営体ありまして。その方々に2.1haの契約ができております。ご自分の担当地区で新規参入者がいらっしやっただと思うんですけども、その方々に畑を紹介して、結びつけたのが2.1haありましたということです。**②目標**ですね、この目標の設定なんですけど、過去3年間の権利移動面積。または農地法で所有権移転された面積をすべてですね、そちらの面積の3カ年の平均を出して、その1割が、目標面積になります。新規参入者に対しての農地を紹介する面積ですね。令和3年度が77ha。この和泊町におきましては、中間管理機構に貸し出ししている面積がすごく多かったので、その面積は省いてくださいということです。あまり大きいと、結局大きい面積を課さないといけなくなるのでそれは省いてくださいということなので、省いた。利用権設定と相対と農地法3条の所有権移

転や貸借の面積です。令和3年度が77ha。令和4年度が37ha。令和5年度79ha。平均が64ha。その1割が6.4ha。こちらが今年度に新規参入者へ貸し出す目標値が6.4haとなっております。

2. 最適化活動の活動目標。(1) 推進などが最低活動の行う日数目標。1人当たりの活動目標。月10日。最適化推進活動を行う農業委員の人数14人、農地利用最適化推進委員の人数10人。全員が行うという目標です。**(2) 活動強化月間の設定目標**、活動強化月間を3つ設定しないとイケないとなっております、取り組みが、①農地の集積。②遊休農地の解消。③新規参入促進。3つのいずれかを必ず行ってくださいということです。今年は8月に、昨年同様に各集落で経済課と話をこれからするんですけども、農政課と協力して地域計画の話し合いを8月から行っていくかと思うんですけども、その中で未相続地や黄色区部分のみ、遊休農地について情報共有を行って、解消に努めるという活動を8月にやっていきたいと思っております。次、9月が「貸したい」「借りたい」総点検活動を行う。昨年度の皆さんに意向調査を行っていただいたんですけども。これは毎年行ってくださいということなので、また協力いただいて、9月から、これはもう来年の2月ぐらいまでですね、やっていきたいと思っておりますので、1月に利用状況調査の結果で、多分、遊休農地が出てくると思うので、その遊休農地の活用について、担い手農家に対する意向調査を委員さん自らやっていただくということです。その3つを設定させていただきます。**(3) 新規参入相談会の参加目標**ということで、新規参入相談会が参加回数1回、必ず1人が1回以上参加することになっておりますので、こちらの方は、開催が毎年行っております新規就農者励ましの会というのが、県、農業区または経済課を中心に行われます。こちらは沖永良部で行われます。それに毎年、会長が参加をしまして、新規参入者に対して支援活動を行って今年も同じようにやっていただくことこの目標を設定しております。以上で説明を終わります。今年1年間、こちらを目標として、1年間最適化活動を頑張ってくださいということになります。こちらをこうした方がいいとか何か意見がありましたらお願いいたします。以上で説明を終わります。

○野村会長

はい。何か質問はありますか。活動目標10日だけ。今年も月10日の活動ということでしょうか。変更にならないみたいですね。それで頑張ってください。他に何か質問なければ、はいどうぞ。

○里村委員

すいませんけど、この他の字もやってると思いますが、この新規集積契約がありますよね。字単位の。これって。まだやってないところはどういうふうにして、申し込みをしたらいいんですか。

○先山主査

今、だいたい利用権設定されて契約をされてるところがほとんどかと思うんですけども、まだみなしのところがあったり、契約してるけど、借りてる方がこの担い手区分じゃない方が解約するっていう時にも、次のタイミングで担い手に貸し付けるとかですね。契約が満期を迎える、その時にその借り手が更新するんじゃないんですけども返しますよっていう時に、担い手に貸し付ける相手を新規で取っていくっていう形しかないんで、もう本当に大変かと思っておりますのでできるだけいいと思います。はい。目標として設定いたしまして、今年は19.2haが目標なので、面積はまた、各担当地区にその面積割合で割り振りさせていただきます。また地域集積を取り組んだところもほとんどないと思いますので、そういうところちょっと減らして、新規目標面積を減らせていただいて、取り組んでないところへ若干その分、増やさしていただく形になります。その面積を6月の総会の時に皆さんに、各字の担当地区のどのぐらいになるっていうのを示させていただきたいと思っておりますけど、それでよろしいでしょうか。わかりましたでしょうか。今言ったのが農地の集積の1の部分ですよ。2の部分の新規参入の促進ということで、貸出、目標、新規参入の促進、(3)次のページですけども、その中で、②の目標で6.4haは、何か違う仕事をして農業するっていう新規参入者。そういう人に対して貸し付ける農地。の農地所有者の同意を得た上で公表する面積っていう

のが6.4haあるんですけども、皆さんに意向調査してもらっていますが、各農家、家に行き、規模縮小とか、あと現状維持、ほとんどが現状維持かと思うんですけども、規模縮小したいという方がたまにいらっしゃいますよね。その方にも規模縮小するのであれば、どの農地からしていきますかっていうことを、聞いていただいて、この畑は遠いからここだったら貸してもいいよっていう畑がありましたら、そこを今度チェックして出していただければ、その6.4haっていうのはすぐに解消できるのかなと思うんですけど、目標設定ですね。なかなかですね皆さん農家の皆さんに聞いてアンケート調査をしていただいているんですが、ほとんどがもう現状維持の農家さんが多いのですが、たまに規模縮小したいという方がいらっしゃるんで、どこどこを規模縮小します。この畑は遠いのでここなら貸してもいいですよという農地をチェックしてもらおう。自分の持つてくる農地が遠すぎてそこまで行くのちょっと大変だからここだったらいいですよっていう農地があれば、そこを、今年も2枚つづりの意向調査の用紙を配りますので、こっちだったら貸してもいいので公表してもいいかにチェックを入れて名前を書いて印鑑してもらおう。1枚目の右上に、そこに名前を書いて公表していいよっていうのをもらっていただけたら、その新規参入の促進の面積に反映させたいと思っています。よろしいでしょうか。あくまでも目標ですので目標に向かって皆さんで一致団結して頑張っていくましよう。はい。

○皆吉委員

いいですか。はい。集積の%とか、この90%には、この間、後蘭と皆川が取り組んだ地域集積での数値はここに入って90%ですか。

○先山主査

はい。入ってます。

○皆吉委員

わかりました。先ほど里村推進委員が質問したのは、古里も集落での新規集積をしたいけど、いつごろ申請したらいいですかっていう質問だったと思うんですよ。多分。今年度やっていいのかなみたいな。内城も手挙げてらっしゃるんで、担当者が新しく結構大変なのかなと思ったりするところなんですけども、またついでに、今年度の新規集積面積19.2haってあるんですけど。ちなみに古里の全面積は60haなんですけど、もし古里が、100%60haした場合、仮にここがもう80haぐらいになるってことですか。

○先山主査

そうですね。集積っていうのは、現在貸し借りをしているところが集積なんですけれども、皆さん合意解約がありますね。合意解約したらマイナスなるんですよ。なので、今回、皆川とか後蘭は結構合意解約をして載せ替えしてますよ。なので、マイナスが多い。合意解約の分マイナスした分。今までの全く相対もしてなくて、みなしだったところがプラスになったという考えです。はい。なので、古里も現在、みなしのところがもう本当に新規になると思うんですよ。それを担い手に貸し付けることが条件です。新規集積、地域集積協力金は、8割を目指してないと交付金は出ませんので。今回からも、公社通しての契約しかできません。契約をすることはとてもいいことかと思えます。それが交付金がもらえるかももらえないかは、8割いかないと。そして8割の中で、1割は新規で担い手に貸し付けないといけない。それが交付金の条件になってます。

○皆吉委員

これももう一つ。付け加えて、80%となると結構ハードルが高くなるわけなんですけども、年度内にそれを仕掛けて年度内に終結するのは、大変でしょうけど、2年間にわたってとかいうのはなし。もう年度内に完結させないといけないということですね。わかりました。

○先山主査

そうですね。準備をその前の年にして、契約開始を次の年にあるっていうのもいいかと思

うんですけど。未相続地とか、そういうのを全部こちらの方で追跡したりして、相続人や誰が契約できるとかそういう準備が結構かかるんですよ。未相続地、結構ありますかね。あればそういうのを先に調査したとか、そういうのを先に準備して、5月1日が一番最初の開始になります。4月1日開始はないので、5月1日から開始になります。それが対象。もし今年、内城が今年取り組むっていうのも5月1日開始からも入ります。その協力金を取り組むとしたら、来年の2月末が最終です。そこまで貸付の準備をして、契約書を準備したりして、8割いったら交付金申請ができます。でも前準備が結構ね、内城は頑張っている同意を得たりとか、あと未相続地を準備したりとか、されたんじゃないですかね。大体もう8割行くかどうかっていうのを、もうこう見ていったらわかるんですけど最終的にもう、これに同意しないってことになって、そこが怖いんですけどね。

○村山委員

まず、その地域集積の事業参入ということで、先ほども言われましたけど8割を超えないと協力金が得られないということで、下調べということで勝手にしましたが、意外と結構スムーズにいきまして、協力者も多くありまして、今のところもう84%ぐらいが、この下調べの結果です。それからどうしてもまた1割ぐらい減るんじゃないかなとか、そういう想定です。また今後ともちょっと、気を抜かずに取り組んでいきたいなと思っているところで、いつから始まるのかなと、気にしておりましたけども5月からということで、これからもよろしく願います。はい。

○野村委員

里村委員。内城が仕掛けたのは、2月ぐらいからいろいろ考えて、可能性のある面積は幾らぐらいあるのか、事務局でお願いをして、ある程度の数字を掴みながら動いて、今の80%というのが出て、最初は89%かもで取り組んで、下準備をして、ある程度の数字を掴んでから動かないと、無駄なことになる。苦労して終わりになる。契約することはいい事ですが、お金が絡んでくると、80%にならないとどうしようもないってことですよ。今、先山主査が言ったように、来年度に向けて、80%っていう数字は来年も変わらないと思います。下がることはないと思う。そういう取り組みの方が確実性があると思いますけど、どうですか。

○先田局長

実際、内城がやってみたいということで相談があり、それから実際に農地の情報をまとめた中で、これだけいったらできますよというのを出したところ、村山委員がみんな調べた結果、現在、84%ということですので、何とかいけるのかなと思うところです。今年度から担当も変わりましたので、私も一緒に字の方で説明会とか、動きたいと思います。よろしく願います。もし、うちの字もやりたいっていうところがあれば、それこそ、今年度準備して、8割行く目途がついた時点で手を挙げるっていうのがいいのかなというふうに思いますので前もって相談していただければ、資料作成します。よろしく願います。

○里村委員

今年急にやろうということじゃなくて、まずはその仕組みっていうのを聞いてから少しずつ話を進めていこうというつもりだったので、いきなり今年始めますってことではないです。まずはどういう段階で準備して、事務局と話を進めていくかを聞いたかったので来年で。

○野村委員

改正が来るんですよ。来年、委員改正が来るもんだから。里村委員が続けてくれたら別に問題は何もないんだけど。

○里村委員

私は二期は約束だから大丈夫ですね。一応その段取りとか準備のことを聞きたくて。わかりました。伺います。

○野村委員

説明してあげてください。はい。他に何かありますか。あちこちでやってるでしょう。だから、理解は取りやすいんですよ最初の頃より。事前で一応、連絡してください。はい、それでは今説明の通りの案を決定することに賛成ですか。賛成の方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

はい。賛成多数ですので、案を消してください。お願いします。

次、報告合意解約は各自で目を通してください。その他。令和7年度農業委員会事務局の事務分掌について、事務局の説明をお願いします。

○先田局長

今年度の事務局ですが、一番最初にすべきだったんですが、ちょっと抜けてまして職員が変わりましたので、紹介したいと思います。名越美希さんの代わりに、三島いずみさんが、4月から、こちらに来ていただきました。

○三島主査

皆さん改めまして、お疲れ様です。4月の異動で、農業委員会に参りました三島いずみと申します。採用は町民支援課でそれから中央公民館へ行って、直前は保健福祉課の方に居まして、福祉分野の方に携わっている期間が長くて、初めての分野になります。農業委員会での仕事がまだあまりわかってなく、初めて聞く言葉もたくさんあったりして知識が足りない部分があるんですが、早く仕事を覚えて皆さんのと一緒に活動ができるように頑張っていきたいと思います。知識不足でご迷惑かけたりすることが多いと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

○先田局長

続いて会計年度任用職員ですが、逆瀬川恵さんの代わりに、辻井理恵さんになりましたので、挨拶の方をお願いします。

○辻井理恵

今年度から、来ました。辻井理恵と申します。もともと和泊の出身で、小中高過ごしてきたんで。地元なんですけど、畑のこと、農業のこと全くわかりません。かなりご迷惑かけるかもしれませんが、1つずつ覚えていきたいと思います。よろしくをお願いします。

○先田局長

以上、新しい人を加えて今年度も5名の職員で頑張っていきたいと思います。事務分掌についてですが、大きく変わったところだけ説明したいと思います。まず私の方に、農地法の3条、4条、5条、の受理・許可通知の方が、私の方に来ました。また8番の農地台帳及び、農地情報公開システムの整備になります。

三島いずみさんについては、名越美希さんが担当されていたものが、主になりますが、新しく7番の予算係ということで、役場の事情というか、組織の関係で、新しく予算係を三島いずみさんをお願いしたいと思います。

先山照子さんについては、地域計画。農業振興地域の整備事業計画ほか農業者年金、昨年度、お願いしたのを、また今年もお願いしたいと思います。

勝男麗さんについては、三島さんの補佐の仕事と、今年度から全国農業新聞の普及推進事務の(正)で、昨年度も農業新聞に2回、記事が載りました。こちらの方を(正)いをお願いしたいと思います。

辻井理恵さんについては、逆瀬川恵さんが、していた農業者年金事務、また、総会の議事録の作成、他をお願いしたいと思います。

続いて、裏に年間の行事計画が載っているところです。今日が22日なんですけど、通常でしたら、23日を予定しているところです。休庁日は前日の平日ということでお願いしたいと思います。

います。また偶数月については、合同研修会を行いますので、推進委員の皆さんの会への参加もお願いしたいと思います。この辺のできれば8月港まつりのパレードを舟漕ぎに参加したいと思いますので、よろしくお願ひします。また8月には、地域計画について、字への話し合い活動ということで、経済課の方と協力しながら各字を回りますので、自分の字に来たときにはぜひ、こちらの方にも参加をお願いしたいと思います。

9月に南3町のブロック別研修会。昨年度は和泊町でありましたが、今年度は与論町での開催予定となっておりますのでこちらの方も多くの方に参加していただきたいと思ひます。また、9月に貸したい借りたい総点検活動がありますのでこちらの方の、協力をよろしくお願ひします。

今月からですねタブレットでの資料の配布ということでお願ひして始まりましたが、例年、いつもでしたら、議案配る時に3条の現地確認の書類をお送りしてたんですけど、それがなくなりましたので、3条の申請が上がってきたら、その都度、現地確認の方をお願ひするよう連絡しますので事務局の方に確認表というか、書類を取りに来て、現地確認の方、お願ひしたいと思います。またその時は合わせて、タブレットの方に場所を送りますのでそれを参考にしていただけたらと思ひます。今年度もよろしくお願ひします。

○野村会長

それでは、次期総会は5月23日。金曜日。9時からここで行います。議案締め切りが5月の15日。現地確認16日、発送が20日となります。

上記のとおり相違ないことを確認し署名する

令和7年 月 日

会 長 _____ .

署名委員 _____ .

署名委員 _____ .